

科目名称	栄養学	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期	1	30
担当教員	宮崎 さおり	授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

栄養素の消化・吸収・代謝及び生理作用について学習し、人間栄養学の意義、ライフステージ別の適切な栄養管理、病態の正確な理解と栄養状態の的確な評価に基づく栄養管理について学習する。

【2】 学習目標

1. 人間の健康と栄養の関連について理解する。
2. 食物を栄養素のレベルで理解する。
3. ライフステージ別栄養状態の特徴を理解する。
4. 食事や栄養と関連して起こる疾患について効果的な栄養・食事指導を理解する。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	第1章 人間栄養学と看護	講義
2	第2章 栄養素の種類とはたらき	講義
3	第2章 栄養素の種類とはたらき	講義
4	第3章 食物の消化と栄養素の吸収・代謝	講義
5	第3章 食物の消化と栄養素の吸収・代謝	講義
6	第4章 体内のエネルギーバランス	講義
7	第5章 食品と食事	講義
8	第6章 栄養ケア・マネジメント	講義
9	第7章 ライフステージと栄養	講義
10	第7章 ライフステージと栄養	講義
11	第8章 臨床栄養	講義
12	第8章 臨床栄養	講義
13	第8章 臨床栄養	講義
14	第8章 臨床栄養	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験、レポート、授業態度等で総合的に評価する。

【6】 教科書

中村丁次: 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[3] 栄養学(第13版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】 参考書

参考書は指定しない。

【8】 受講生へのメッセージ

- 人体や食物についての学習に加え、栄養によって健康を維持・向上させる方法を総合的に習得してほしい。
- 私たちの体は食べたもので作られています。食への興味・関心を持ち、自身の食生活を見直すきっかけになってほしいと考えます。